

教科	科目	単位数	学年	集団
探究	社会探究	2	3	総合探究科文系

使用教科書	副教材等
なし	私たちが拓く日本の未来 主権者としての求められる力を身に付けるために (著作：総務省・文部科学省)

科目の目標
現代は「知識基盤社会」とあるといわれています。そのような社会では、思考力や判断力、そして、これまで身に付けてきた知識や技能を活用する力が重要です。この科目では、既習事項の徹底した修得や更なる深化を図るだけでなく、人文科学・社会科学分野のテーマについての学習を通して、物事に対する多様な思考方法を習得し、実社会における課題解決能力を身に付けることを目的としています。授業では、1年次の「公共」、2年次の「人文・社会探究」の既習範囲の中から、徹底して修得すべき基礎的な事項から、深い考察が可能で課題解決的な学習に適切な事項までを扱います。また、広い視野に立って、民主主義の本質に関する理解を深めさせ、現代における政治、経済、国際関係などについて客観的に理解させるとともに、それらに関する諸課題について主体的に考察させ、公正な判断力を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。

評価の観点とその趣旨	
①知識・技能	現代の社会的事象と人間としての在り方生き方とにかかわる基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。現代の社会と人間にかかわる事柄に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。
②思考・判断・表現	現代の社会と人間にかかわる事柄から課題を見だし、社会的事象の本質や人間の存在及び価値などについて広い視野に立って多面的・多角的に考察し、社会の変化や様々な考え方を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。
③主体的に学習に取り組む態度	現代の社会と人間にかかわる事柄に対する関心を高め、意欲的に課題を追究するとともに、平和で民主的なよりよい社会の実現に向けて参加、協力する態度を身に付け人間としての在り方生き方についての自覚を深めようとする。
評価方法	
<ul style="list-style-type: none"> ・知識・技能 振り返りシート・新聞探究（1学期・3学期） ・思考・判断・表現 振り返りシート・プレゼンテーション・発表 ・主体的に学習に取り組む態度 課題・提出物・出席の状況、個人やグループ活動の姿勢、授業への取り組み状況 	

学習計画						
月	単元名	使用教科書項目	単元や題材などの内容のまとめりごとの学習目標	評価の観点		
				①	②	③
4		1 政治とは	政治とは何か、主権者としての役割は何か、法の支配とは何かを踏まえ、日本が抱える課題について考えることができる。社会課題に対する法律案を作成することができる。	○	○	○
		2 日本が抱える課題				
		3 法律案作成				
5	模擬議会 (議会制民主主義)	4 与野党分け	議会制(国会)、与野党の役割について踏まえ、法律案を審議することができる。法律案の根拠・具体例などを基に、法律案を審議することができる。	○		○
		5 与野党内プレゼン				
		6 富士市議会議員ヒアリング				
6		7 討論準備	実際に行われる委員会の仕組みを理解し、委員会開催の準備(進行の流れ、シナリオ作成、スライド作成)を行うことができる。	○	○	○
		8 委員会開催	専門委員会を実際に開催し、どのように本議会に法案がかけられるのか採決方法などを学ぶことができる。		○	○

7	模擬議会 (議会制民主主義)	9 討論準備	実際に行われる本会議の仕組みを理解し、本会議開催の準備（進行の流れ、シナリオ作成、スライド作成）を行うことができる。	○	○	○
		10 本会議	本会議を開催し、法案がどのように法律可決否決になるかを学ぶことができる。	○	○	○
9	財政 (財政探究プログラム)	1 オリエンテーション	日本財政の現在について調べ（動画視聴、東海財務局の講義）、現状について理解することができる。	○	○	○
		2 現在を知る	日本が抱える問題を調べ、課題・問題から何を改善すべきかの優先順位をつけることができる。	○	○	○
		3 過去を知る	自身が取り組む日本が抱える課題・問題から一つテーマを決め、テーマの過去を遡り、解決方法を検討することができる。	○		○
10		4 過去・現在から未来を考える	日本が抱える課題の解決・改善するために予算をどのように配分するかを考えることができる。歳出・歳入を考え、予算のビジョンをシート化することができる。	○	○	○
		5 中間発表会	東海財務局にビジョンを提案し助言をいただき、予算案を修正することができる。	○	○	
11		6 未来を考える	中間発表会のアドバイスから予算（歳出歳入）を考え直し、柱となる歳出項目・歳入項目を決めることができる。予算案の中で受益と負担の整合性がとれているかを確認することができる。	○	○	○
		7 最終発表会	東海財務局の職員の方々にに対し、自分たちのビジョンをプレゼンテーションすることができる。		○	○
12	1	8 振り返り	財政探究の中で得た知見やリテラシーについて振り返ることができる。		○	○
1		1 富士市議会報告	富士市の授業評価を読み、富士市が現在行っている事業について見直し案を考えることができる。	○	○	○
		2 報告会	富士市議会議員に対して事業改善案のプレゼンを行うことができる。		○	○
2						